



新宿区立四谷中学校
 学校だより
 第2号
 平成22年6月7日

●●●メッセージ●●●

校長 吉田 和夫

四谷中学校に着任して、早くも2ヶ月、この間、3年生の修学旅行、1年生の移動教室などがありました。幸い、大きなケガや病気、事故もなく、生徒にとって、大変良い思い出になりました。私も3年生の修学旅行を引率しましたが、概ね穏やかな気持ちで過ごすことができました。いくつかの課題も見えましたが、学年主任の伴場主幹教諭を始め熱心な3学年の先生方の下、3日間ですぐ成長した生徒も多く、学校行事の意義や価値を改めて認識しました。

続く、1年生の移動教室についても、生徒が大変良かったと、山本副校長先生や森田主任教諭から報告を受けました。今後の進歩が楽しみです。5月29日(土)には、四谷3丁目の街頭で緑の羽根の募金をやってくれました。(他記事参照)



2学年は、これから鎌倉遠足を経て、スキー移動教室へ取り組む課外行事があります。当面、運動会の取り組みとともに、毎時間の授業を大切に、2学期からは生徒会・委員会・部活動の中心となり、一層活躍してください。保健室の使い方や休み時間の過ごし方など、お互いに良くなるように工夫していきましょう。

さて、最近よく思うのですが、「成果」を上げるためには一定の法則があるようです。これを「ライフ・マネジメント・スキル(人生経営の技術)」とも呼ぼうかと考えているのですが、成果を導き出すための心構えや態度、姿勢など、単なる練習や学習以前の要素があると強く感じるのです。今回は、それについて少し紹介してみたいと思います。

四谷中では、「あじみそ・マモル」を指導しています。別のところで紹介しますので、詳しくは述べませんが、この項目を達成するなら大きく人生を、そして学校を変えることができます。問題行動で有名だったある高校が、この「あじみそ」を生徒に強く指導し、生徒もそれを心がけたことで、見違えるように変わったという事実があります。

(鈴木高弘/著「熱血! ジャージ校長奮闘記」(小学館)参照。または<http://www.kyoiku.metro.tokyo.jp/buka/gakumu/20keieisindan.pdf#search=あじみそ足立新田高校>で検索。)

また、少し前にテレビで「天才じゃなくても夢をつかめる10の法則」を放映していました。1月に第1回、5月にパート2がありました。5月のパート2では、次のようなことをあげています。

- ①「**ど**んどん**人**マネをしろ、才能はそこから芽生える」
- ②「**心**ふる**わ**す物を常に探せ!
才能は学歴や知識の量ではなく、感動の量で決まる」
- ③「**と**ことん悔しがれ!! 競争は人を強くする」
- ④「**つ**らい時には逃げろ!」
- ⑤「**あ**らゆる**失**敗を想定しろ。それがプラス思考につながる」
- ⑥「**い**ざという時は**独**断で決めろ!
独断こそが独創的なアイデアを生む」
- ⑦「たとえ考え抜いたアイデアでも**捨**てる**勇**気を持って」
- ⑧「人生を劇的に変える**リ**フレーミング**※**の技を身につける」
(※別の角度や視点からみること)
- ⑨「**毎**日できる**小**さな**目**標をつくれ
それが大きな夢の達成につながる」
- ⑩「**今**すぐ、夢への**一**歩を踏み出せ」
(以上、詳細は <http://www.ntv.co.jp/tensaiyume/>へ)

この番組の内容は「あなたも天才になれる10000時間積み上げの法則」にもつながります。
(<http://lifehacking.jp/2008/11/the-law-of-10000-hours/>) これは、Malcolm Gladwell (マルコム・グラッドウェル) 氏の著作からとられたものです。



継続は力であり、続けることは一つの偉大な能力です。
(次回にも続きます。)



転任された先生方の挨拶

●谷合 明雄前校長先生

我が人生に悔い無し・・・楽しく充実した日々・・・

「光陰矢の如し」とか申します。四谷中学校に赴任しての5年間はあっという間に終わってしまった感があります。地域協働学校の立ち上げ、四谷学の計画と実施、45分30コマ授業の取組と放課後帯時間帯を活用した『補充と探究学習』、食育の一環としての著名な調理人を招いての授業、江戸の歴史学習を出発点とした地域巡検の授業、漢字検定、英語検定、地域の方々を講師としてお願いした数学の授業等々、多くの方々の善意に支えられた様々な取組を実施することができました。「実に楽しかった」、「充実していた」というのが私の偽らざる実感です。この間、ご援助頂きましたスクールコーディネータの酒井さん、望陀さんを始とする町会のみなさん、田中会長以下PTAの皆さん、我が儘でワンマンな校長を支えてくれた教職員の皆さん、本当にお世話になり、感謝の気持ちで一杯です。私が校長職を全うできたのも、こうした皆様に支えられたお陰であると思っています。

四谷中学校では、「四谷鉄道」で遊んだことも思い出の一つです。幼稚園や保育園の幼児から校長会・教育委員会の皆様まで、数多くのお客様に馴染んで頂きました。学校を去るに当たり、鉄道は残してこようかとも思いましたが、専門家の居ないところでの運転は危険極まりないものがあり、止む無く撤去することとしました。今後は、幼稚園等の要請に応じて出張サービスをしていると思っています。



▲四谷鉄道の様子

現在は、水道橋にあります「東京都教職員研修センター」で月火木金の四日間勤務し、管理職や指導主事研修、種々の教職員の研修を担当しております。この仕事も、今後の学校を支える後継者の育成であり、遣り甲斐のあるものと思っています。近くですので、機会がありましたら、是非お立ち寄り下さい。さらにもう一つ、拓殖大学で教職課程の授業を担当することとなりました。水曜日に茗荷谷校舎、土曜日に八王子校舎と週二日通って前期4コマ、後期5コマの授業を担当する予定です。久しぶりの授業、しかも、90分1コマの授業は未体験であり不安も残りますが、未来の教師を要請するというこ

業務と思っています。いずれ、四谷中の卒業生と大学で再会ということもあるかもしれません。

教職38年間で締めくくる学校が四谷中学校であったことに感謝申し上げます。(故)大橋一芳校長の残された4年間に亘る学校の基盤整備の上に、教育内容を中心に5年間の実践を積み上げてきました。本年度以降、四谷中学校はどのような方向に発展していくのか楽しみなどところです。次の10年間の更なる発展と関係する皆様のいやさを祈りつつお礼の挨拶とさせていただきます。



●和田 弘文先生(社会科)

四谷中学校に在職中は、大変お世話になりました。深く感謝申し上げます。西戸山中中学校に移動して早一ヶ月、あたふたと新しい生活を始めています。

四谷中学校には9年間お世話になりました。四谷一中と四谷二中が統合して新四谷中学校の開校式の折に、大橋校長先生が白い手袋で新旗を受け取られた姿を良く覚えています。卒業生は4回出したのですが、人なつっこく、素直で楽しい思い出をいっぱい残してくれました。卒業してからも高校で、また各界で活躍している様子を聞くと、四谷中の卒業生は、卒業してからも伸びる…とつくづく実感します。効率中学校の良さを發揮してくれています。

在校正諸君やご父兄の皆様、職員の方々の今後のますますのご発展をお祈りいたしております。ありがとうございました。



●糸長 俊明(区カウンセラー)

四谷中のみなさん、こんにちは。昨年度スクールカウンセラーとして金曜日に来ていた糸長です。4月から別の学校に行くことになって、みんなの顔が見られず、とてもさみしいです。元気になっていますか？ ちゃんとお別れをいえずに出してしまったので、心残りに思っています。新しい学年はどうですか？ 一つずつ学年が上がり、クラスもかわり、担任の先生もかわった人もいると思います。たのしく過ごせているといいな、と思っています。

もうみんなの話を聞いたりすることはできなくなりましたが、みんなが成長して、一つひとつ階段をのぼって行って、すてきな大人になっていくのを心から願っています。また会ったと

きにはちょっと成長した姿を見せてくれるとうれしいです。そのときまで、さようなら。



●田原 健司(区連携教育推進員)

小中連携教育推進委員としてお世話になりました、田原健司です。約9ヶ月を四谷中学校で過ごしてきましたが、別れの時を迎え、今現在は、大田区大森第八中学校に勤務しています。

四谷中学校での私は、とにかく子どもと触れ合い、その触れ合いの中から様々なことを学びました。

「心有るところに情けあり、情け有るところに絆あり、絆あるところに『人の和』ができる。」この心・情・絆の三つが揃うことにより、「人の和」がやがて「輪」になる。そうした貴重な経験をすることができた四谷中学校と子ども達には、大変感謝しています。

子ども達に伝えなかったこと、それは「人生は航海」であるということでした。船やヨットはどんな風向きであっても、「風を読み」、一杯に張った帆に強い風を受けながら「風を操り」、「目標に軸を向け」進んでいく。進むべき方向や目的が不明確であったり、例え中継点であっても到達すべき目標が定量的でなければモチベーションは薄れ、能力の発揮度合いに大きな差が生じてしまう。

私は、一人一人が持てる力を精一杯に発揮し、自らの手で未来の扉を開けて欲しいと思っています。

最後になりましたが、四谷中学校の皆様にありととうと伝えたいです。



●佐竹 伸一(用務主任)

春風によって四谷中に転任してきたのが、2年前の事です。あつという間の2年間でしたが、職員の方々や、PTAの方々、地域の方々、主事室の諸先輩に支えられて、仕事も円滑に行うことができました。本当にありがとうございました。「人と出会って人と会話する。」この日常的な行動が、人の気持ちを潤し元気にさせてくれます。

たくさんの人達と出会えたことは、私の何よりの財産です。私は毎晩音楽を聞きながら寝ています。ジャンルは問わず、色々なものを聴いています。特に好きなベートーベンが、知人に宛てた手紙の一節があります。

「芸術は、あらゆる人々を結びつける。」

人と人が結び合う、この「平和の文化」こそがベートーベンの音楽だと思います。第九完成の前年のこと、11歳の少年が53歳のベートーベンのもとを訪ねた時、少年に話しかけた。

「音楽で、たくさんの人達を幸福にしてあげなさい。これ以上立派で気高いことはないのだよ。」と。ベートーベンとの出会いによりこの少年は、

後に名曲で世界を魅了した。その人の名は、音楽家リストであった。これからも新しい職場での出会いを大切に、頑張ってゆきます。

皆様もお元気で、お過ごし下さい。お世話になりました。

ウキウキ! よっちゅうせい

1年生女神湖移動教室

女神湖高原学園において体験学習を中心とした移動教室を行いました。個人の作業は集中力を持って、班の作業は協力する気持ちを忘れず、都会ではできない貴重な体験を通して、一人一人がたくさんのことを学ぶことができました。



3年生の修学旅行

今年の修学旅行には2つの新しい取り組みがありました。一つは、スカイガイドというお年寄りのガイドと共に巡る京都の班行動です。



親しみやすいガイドさんと楽しくかつ有意義な時間を持つことができました。もう一つは、平城遷都

1300年祭です。平城京跡は混んでいてあまり見られませんが、セント君に出会うなど、お祭り気分を味わうことができました。

はるか昔に思いを寄せて、一人ひとりの心に残る修学旅行になったと思います。





内藤トウガラシの苗植え

5月26日、新苑学級の畑で内藤トウガラシの苗植えが行われました。田中PTA会長が苗を持ってきてくださり、新苑学級の生徒（当日12名）が苗植えを体験することができました。田中会長から内藤トウガラシの由来の話があり、地域からは吉川さん、作本さんが生徒といっしょに活動していただきました。



畑は、敷地の外側の歩道から見える所があり、赤く実った内藤トウガラシが地域の方々の目を楽しませてくれることでしょう。



四谷の町で緑の羽根募金活動



5月26日（土）に1年生16名が緑の羽根の募金活動を9時から12時まで四谷三丁目交差点で募金活動をしました。

これは本校の地域協働学校としての取組の一環とした、地域ボランティア活動として行ったものです。当日は肌寒い日でしたが、生徒は元気な声で募金をお願いする活動ができました。

また四谷地区の町会の御協力をはじめ、地域の方からの多くの声援をいただき、募金活動を行うことができました。ありがとうございます。

6月6日の本塩町のお祭りにも、ボランティア生徒が参加します。ご支援よろしくお願います。



これからの主な行事

（ご予約ください）

- 6月12日（土）運動会
- 6月21日（月）学校公開週間
- 6月30日（水）定期テストA
7月2日まで
- 7月13日（火）保護者会
- 8月30日（月）職場体験
9月3日まで
- 9月11日（土）道徳授業地区公開講座
- 9月28日（火）定期テストB
29日まで
- 10月 5日（火）新苑移動教室
(2泊3日)
- 10月 8日（金）1・2年遠足
- 10月18日（金）学校公開週間
- 10月28日（木）10周年記念式典
- 10月29日（金）合唱コンクール
- 11月17日（水）定期テストC
19日まで
- 12月 1日（水）家庭連絡週間
- 12月21日（火）保護者会
- 1月19日（火）2年ｽｰ教室
(3泊4日)
- 2月24日（木）定期テストD
28日まで
- 3月18日（金）卒業式



6月の予定

- 1日（火）避難訓練
- 4日（金）開講記念日
- 9日（水）運動会予行
- 11日（金）食育リーダー研修会
- 12日（土）10周年記念大運動会
- 13日（日）運動会予備日
- 14日（月）振替休業日
- 17日（木）進路説明会①（3年生）
学級見学会（新苑）
- 21日（月）学校公開週間開始
- 24日（木）学校説明会
- 25日（金）学校公開週間終了
- 30日（水）遠足（新苑）
定期考査A①

